

急性腎孟腎炎の分離菌と薬剤感受性に関する 多施設共同後方視的観察研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2026年1月26日～2026年12月31日

〔研究課題〕

急性腎孟腎炎の分離菌と薬剤感受性に関する多施設共同後方視的観察研究

〔研究目的〕

この研究は、全国組織であるUTI共同研究会に所属する30の大学病院及びそれらの関連施設やその他の病院や診療所から情報を収集・集計する後ろ向きの観察研究です。対象は急性単純性腎孟腎炎患者とし、患者情報と尿から分離された細菌のデータ、治療情報を集計します。それにより、分離菌や薬剤感受性の傾向が明らかとなり、適正な抗菌薬使用に資すると考えられます。さらに、ガイドラインなどの情報にも活かされることが期待されます。

〔研究意義〕

急性腎孟腎炎の患者さんで、とくに、原因菌、治療経過、抗菌薬の種類やそのタイミング、臨床転帰と予後因子などの情報を収集し解析することにより、本疾患の治療の改善に資する知見を得ることを目的とします。

〔対象・研究方法〕

2018年1月1日から2023年12月31日までの間に、当院で急性腎孟腎炎にて治療を実施した患者さんが対象です。未成年の患者さんは含みません。診療記録から、年齢や性別・基礎疾患、自他覚所見、診療経過、血液尿検査結果等の医学情報を調査し、各種の統計解析を行います。研究者は帝京大学医学部附属病院に所属する者に限られます。過去の診療録を調査するだけの研究ですので、患者さんの生命・健康に直接影響を及ぼすことはありません。

〔研究機関名〕

〔研究代表機関・研究代表者〕

富山大学泌尿器科・病院助教 桧山 佳樹

帝京大学医学部附属病院 泌尿器科

〔個人情報の取り扱い〕

患者さんのお名前など個人情報は、誰のものかわからないように加工したうえで研究を行い、上記研究代表機関に情報を提供しますが、その保護には十分に配慮いたします。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただくことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。研究終了後、情報を倫理委員会事務局に提出し、帝京大学臨床研究センターにて10年間保管の後に廃棄します。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者：帝京大学医学部泌尿器科学講座 主任教授 中川徹

情報管理責任者：帝京大学医学部泌尿器科学講座 教授 重村克巳

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL 03-3964-1211(代表) [内線 33709]